～宮大生のための海外渡航～

台湾夏期英語／中国語・台湾文化研修報告

工学部・研究科　環境応用化学科　3年　（氏名　櫻田忠光）

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　　2017年　8月　16日　　～　　2017年　8月　30日

〇渡航時の学年：　3年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

中国語は1年生の前期に初修外国語として勉強した後勉強をやめていました。再度2年後期から勉強を始め、せっかく中国語を勉強したこともあり中国語圏に行きたいという思いが強くなりました。台湾は日本に近いこと、治安のいいことがよく言われ、日本からの旅行者が非常に多く、漢字圏で行きやすい国であると感じたため、本研修に申し込み、更に中国語を3年前期も履修しました。

・渡航に関する手続について：

宮崎大学への提出物・・・留学・研修届、航空券の予約確認書、海外保険加入証明書コピー、誓約書コピー、レベルチェックシート（英語、中国語のどのクラスを希望するか事前調査）

派遣大学への提出物・・・誓約書の原本、海外保険加入証明書の原本

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：

・渡航費（日本国内）・・・宮崎⇄福岡　8700 円
　　福岡⇄桃園国際空港　27010 円
・保険料・・・10000 円
・研修費・・・18000 元　（65000 円）
・生活費、食費・・・4500 元　（16000 円）
・交通費（台湾国内）・・・2500 元（9000 円）
・お土産、プレゼント・・・4000 元（14500 円）
・自分用のお土産・・・4000 元（14500 円）
　総合計＝164710 円

台湾の物価が思っていたよりもかなり高かったので、買ったお土産の量は予定よりかなり抑え、自分用に買ったものも2点だけとしましたが、それでも予定総合計15万円を超える結果となりました。個人的に一人で散歩に出かけたぶんの交通費分としてやや嵩んでしまったところがあるので、皆でタクシーに乗り合わせればもっと抑えられると思います！

〇大学のサポート状況：

大学側は全員での学外研修のバスの手配、イベントの手配などを行なってくれました。交流は学生チューターが近くに常にいたので、大学スタッフの方と話す機会はほぼありませんでしたが、学外に出ることも多かった本研修のまとめ役をしていました。

〇授業の様子：
私は中国語の初級コースを選択しました。このコースは一切中国語を今までに勉強したことがない人～半年ぐらいは大学の必修科目として強制的に学んだぐらいの完全に中国語初心者のコースでした。中国語自体は1年半勉強していましたが、ピンインの読み方が細かいところがわからないもの、正しい発音ができない状態だったので、発音を重視するこのクラスは私の一番勉強したいことが勉強できる自分にあったクラスでした。29人のクラスでしたが、男性は5人だけで、そのため一緒のクラスの人と仲良くなることができました。

〇他の留学生たちの様子：
日本に留学に来ている韓国、中国の留学生の人もいました。

〇現地学生との交流：
基本的に、開南大学の応用日本語学科のチューター学生さんたちが授業、自由時間、学外研修において常にサポートしてくれて、言語面、安全面共に全く困ることはありませんでした。驚いたのはチューターさんたちも寮に下宿し本当に14日間常に一緒であったとことです。ここまでお世話をしてくれるのは相当な負担であったこと思います。

〇街の様子：
大学周辺はコンビニ以外にスーパーやデパートなどはないので、到着した翌日に全員で大型スーパーマーケット　家楽福 Carrefour に買い物に出かけました。大学周辺は飲食店、コンビニは多いので夜ご飯、飲み物を買うことなどは困りませんが、日用品が不足した時は面倒なので、あらかじめ十分に持って行っておくか、2 日目の買い物時にしっかり買い込んでおきましょう。
桃園駅周辺は大型デパートがあり、飲食店も多いエリアです。台北に行く時にはここから乗りました。夜には怪しい物売りが出没していました。買い物、食事のため1回だけ夜に出かけました。
最近できたばかり？の高鐵桃園站周辺はアウトレットモールとも直結していて大きく綺麗な駅です。アウトレットモールには1回買い物に2人で行きました。
他にもタクシーで 20 分ぐらいのところに、台茂購物中心 tai mall や大江購物中心 METRO WALK などのショッピングモールもありブランド物を買いたい時、ちょっと遠出して食事をしたい時には散歩に行くところもあります。

〇その他：
物価が東南アジアの国々と比較してかなり高いと思うので、日本円を多めに持って行っておく、クレジットカードを用意しておく、クレジットカードに海外キャッシングをつけておく、NT＄を外貨預金として入れておいていつでも現地の ATM で現金を引き出せるようにしておく、などの準備をしておくと予定外の出費があった時も安心ではないでしょうか。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
集中講座やインターンシップなどが重ならなく、台湾に興味があれば是非参加をオススメします。異国であるということでそこで生活するだけで大きな刺激を得ることができます。台湾は日本に国として近いだけでなく、同じ漢字圏として文化や生活でも戸惑うことが少なめだと思うので、初めて海外に行く人はまず台湾などはどうでしょうか。英語、日本語もそこそこ伝わるところも多いですが、逆にどこでも伝わるわけではないので、あらかじめ中国語を少しでも勉強しているといいと思います。
結構冷房のきついところが多いので、カーディガンなど寒いと感じた時にすぐ羽織れるものを用意しておくといいです。
洗濯機、乾燥機がありますが、洗濯ネットを用意しておくといいでしょう。
トイレットペーパーが備え付けられていないことが多いので、ポケットティッシュを大量に持って行

っておくと、風邪をひいた時のことも考えると安心です。

交通事情は日本と異なります。バイクにとにかく気をつけましょう・・。

英語、日本語の通じない時の対策として、スマホの翻訳機能を使うために、SIM カードやモバイル Wi-Fi に予算を割くのは決して損ではないと思います！Wi-Fi の繋がらないところでも色々調べることもできます（対象年齢に指定があります。あらかじめ調べておいてください）。

チューターさんには大変お世話になりました。日本でお土産を最初から用意しておいてもいいと思います。台湾人に不人気なお土産などもネットで調べればすぐに出てくるので調べてから用意すると間違えなさそうです。（私は現地でチューターさんのことを考えながら購入しました。）

とりあえず、お金の準備と事前にコンセントのプラグ形状や電圧などの日本との違いの事前調査はしっかりと！

鎮瀾宮

眷村文物館

開南大學暑期華英語暨台灣文化研習營
開南大學
2017開南大學暑期華英語暨台灣文化研習營